

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 大河原町立大河原中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒989-1247
宮城県柴田郡大河原町字東1番地

E-mail : daichu@town.ogawara.miyagi.jp

Website : http://www.town.ogawara.miyagi.jp/daichu/

児童生徒数：男子 331名 女子 309名 合計 640
 名

児童・生徒の年齢 13歳 ~ 15歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ボランティア活動）

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容につ

いては、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

1 活動の目的

- ・ 宮城県岩沼市の仮設住宅に住む被災された方々への末永い支援活動を通して、生徒たちに絆やつながり、協力や協働といったボランティア精神の育成をめざす。
- ・ 県内でも内陸部と沿岸部では震災への意識に温度差があるので、生徒会に「復興支援委員会」を組織し、定期的な支援活動や交流を図り生徒の復興支援への意識を高める。
- ・ 生徒の防災活動の活性化に取り組み、自ら進んで安全活動に取り組む意識や、地域住民として防災意識の高揚を図る。

2 授業実践

OH2 5

- ・ 4月 全校集会でこれまでの復興支援の取組を紹介し継続した支援活動を確認する。
 - ・ 吹奏楽部による仮設住宅慰問コンサート
- ・ 6月 岩沼市千年の森プロジェクト（植樹祭）参加
手作りベンチ修繕大作戦（3年前に仮設住宅に寄贈した生徒の手作りベンチを修繕しに訪問）
- ・ 7月 全校集会で復興支援（手作りベンチ修繕大作戦）の報告
- ・ 8月 生徒向け救命救急講座
- ・ 11月 町の総合防災訓練参加
- ・ 12月 仮設住宅へのクリスマスツリー設置に向けた募金活動。
マスコット・メッセージカード作りと配付。
クリスマスツリーの設置と撤去

OH2 6

- ・ 2月 中高生による復興支援に関するパネルディスカッション（岩沼市）参加
- ・ 全校集会での報告と発表

上記以外にも町の地域の福祉団体によるボランティア活動の実施

3 成果

本校では、被災地ながら被災地を支援するという活動を3年にわたり継続してきた。校内のアンケートにより9割以上の生徒が今度も復興支援活動を続けていきたいと意欲的であり、ボランティア精神の高揚がみられた。今後も継続して行うとともに、地域での自発的な支援活動や他ボランティア活動への積極的な参加、地域住民としての防災意識へつなげていきたい。

（2）活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ ）